

交付図書の訂正について

令和8年6月26日付けで入札公告を行った「磐越自動車道 中野川橋下部工工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、交付図書をご確認ください。

令和8年8月28日

契約責任者

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 中西 規祥

【訂正内容】

- ・ 01-1_金抜設計書（磐越自動車道 中野川橋下部工工事）
- ・ 01-2_金抜設計書（磐越自動車道 中野川橋下部工工事） CSV データ
- ・ 02_特記仕様書（磐越自動車道 中野川橋下部工工事）
- ・ 03_数量明細表（磐越自動車道 中野川橋下部工工事）
- ・ 04_割掛対象表（磐越自動車道 中野川橋下部工工事）
- ・ 05_割掛対象表参考内訳書（磐越自動車道 中野川橋下部工工事）
- ・ 06-02_設計図（橋梁下部工・中野川橋）磐越自動車道 中野川橋下部工工事
- ・ 06-05_設計図（工事用道路）磐越自動車道 中野川橋下部工工事
- ・ 06-06_設計図（工事用仮橋・中野川橋）磐越自動車道 中野川橋下部工工事
- ・ 06-07_設計図（工事用仮橋・六郎次川橋）磐越自動車道 中野川橋下部工工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

正 誤 表

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所		正誤区分							
金抜 設計書 用排水 溝 Bf- 0.650 . 0.415	誤	単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		25	4 - (14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み (練) 控35cm	971	m ²			
		26	4 - (16)	裏込め砕石	366	m ³			
		27	4 - (17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	123	m			
		28	5 - (1)	用排水溝 P u L ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0	464	m			
		29	5 - (1)	用排水溝 P u L (S 2) ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0	123	m			
		30	5 - (1)	用排水溝 B f ・ 0 . 3 0 0 ・ 0 . 2 0 0	109	m			
		31	5 - (1)	用排水溝 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5	19	m			
		32	5 - (1)	用排水溝 U (G L 2) ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0 (F)	11	m			
		33	5 - (2)	用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 2 0 (S d - B)	444	m			
		34	5 - (2)	用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 3 5	58	m			
		35	5 - (3)	集水ます T y p e A	8	箇所			
		36	5 - (7)	地下排水工 D u - P φ 0 . 1 5 ・ 0 . 5 0 ・ 0 . 5 0	18	m			
正		単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		25	4 - (14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み (練) 控35cm	971	m ²			
		26	4 - (16)	裏込め砕石 裏込め砕石	366	m ³			
		27	4 - (17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	123	m			
		28	5 - (1)	用排水溝 P u L ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0	464	m			
		29	5 - (1)	用排水溝 P u L (S 2) ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0	123	m			
		30	5 - (1)	用排水溝 B f ・ 0 . 3 0 0 ・ 0 . 2 0 0	109	m			
		31	5 - (1)	用排水溝 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5 (R)	19	m			
		32	5 - (1)	用排水溝 U (G L 2) ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0 (F)	11	m			
		33	5 - (2)	用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 2 0 (S d - B)	444	m			
		34	5 - (2)	用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 3 5	58	m			
		35	5 - (3)	集水ます T y p e A	8	箇所			
		36	5 - (7)	地下排水工 D u - P φ 0 . 1 5 ・ 0 . 5 0 ・ 0 . 5 0	18	m			

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所		正誤区分							
金抜 設計書 軽量盛 土工 B1 工事用 仮橋 下部工 N 設置	誤	単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		97	特 - (3)	軽量盛土工 B 1	719	m ²			
		98	特 - (3)	軽量盛土工 B 2	467	m ²			
		99	特 - (3)	軽量盛土工 B 3	467	m ²			
		100	特 - (3)	軽量盛土工 B 4	374	m			
		101	特 - (3)	軽量盛土工 B 5	3,050	m ²			
		102	特 - (3)	軽量盛土工 B 6	775	m ³			
		103	特 - (3)	軽量盛土工 B 7	1,647	m ²			
		104	特 - (3)	軽量盛土工 B 8	129	m ³			
		105	特 - (4)	工事用仮橋 上部工N (A) 設置	272	m ²			
		106	特 - (4)	工事用仮橋 上部工N (B) 設置	1,135	m ²			
		107	特 - (4)	工事用仮橋 下部工N 設置	465.27	t			
		108	特 - (4)	工事用仮橋 基礎ぐいN 設置	127	本			
	正	単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		97	特 - (3)	軽量盛土工 B 1	719	m ²			
		98	特 - (3)	軽量盛土工 B 2	467	m ²			
		99	特 - (3)	軽量盛土工 B 3	467	m ²			
		100	特 - (3)	軽量盛土工 B 4	374	m			
		101	特 - (3)	軽量盛土工 B 5	3,050	m ²			
		102	特 - (3)	軽量盛土工 B 6	775	m ³			
		103	特 - (3)	軽量盛土工 B 7	1,647	m ²			
		104	特 - (3)	軽量盛土工 B 8	129	m ³			
		105	特 - (4)	工事用仮橋 上部工N (A) 設置	272	m ²			
		106	特 - (4)	工事用仮橋 上部工N (B) 設置	1,135	m ²			
		107	特 - (4)	工事用仮橋 下部工N 設置	304.62	t			
		108	特 - (4)	工事用仮橋 基礎ぐいN 設置	127	本			

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所		正誤区分							
金抜 設計書 工事用 仮橋 下部工 R 設置	誤	単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		109	特 - (4)	工事用仮橋 上部工R (A) 設置	296	m ²			
		110	特 - (4)	工事用仮橋 上部工R (B) 設置	320	m ²			
		111	特 - (4)	工事用仮橋 下部工R 設置	183.00	t			
		112	特 - (4)	工事用仮橋 基礎ぐいR 設置	69	本			
		113	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	304	m			
		114	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	912	m			
		115	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	912	m			
		116	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	125	m			
		117	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	125	m			
		118	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5 (A) 設置	21	m			
		119	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5 (A) 撤去	21	m			
		120	特 - (6)	仮設標識工 A	3	基			
正		単 価 表							
		番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
		109	特 - (4)	工事用仮橋 上部工R (A) 設置	296	m ²			
		110	特 - (4)	工事用仮橋 上部工R (B) 設置	320	m ²			
		111	特 - (4)	工事用仮橋 下部工R 設置	81.44	t			
		112	特 - (4)	工事用仮橋 基礎ぐいR 設置	69	本			
		113	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	304	m			
		114	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	912	m			
		115	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	912	m			
		116	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	125	m			
		117	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	125	m			
		118	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5 (A) 設置	21	m			
		119	特 - (5)	仮設物設置・撤去工 B f ・ 0 . 6 5 0 ・ 0 . 4 1 5 (A) 撤去	21	m			
		120	特 - (6)	仮設標識工 A	3	基			

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																																								
特記仕様書 (29 頁) 26-4. 構造物掘削	2 6 - 3 捨土掘削 (1) 種別 捨土掘削の単価表の項目及び作業内容は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>捨土掘削 土砂（表土）C 1</td><td>1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等</td></tr><tr><td>捨土掘削 土砂（表土）C 2</td><td>1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）</td></tr></table> (2) 施工 本線外盛土場における盛土管理は下部路体相当仕上げとする。 その施工層厚及び施工管理の基準は「土工施工管理要領」に示す基準に拠らなければならない。 (3) 支払 共通仕様書の 2 - 6 - 7 「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2 - (4) 捨土掘削</td><td></td></tr><tr><td>土砂（表土）C 1</td><td>m³</td></tr><tr><td>土砂（表土）C 2</td><td>m³</td></tr></table> 2 6 - 4 構造物掘削 (1) 種別 共通仕様書 2 - 8 - 1 「定義」（1）に規定する構造物掘削の単価表の項目及び作業内容は、下記の通りとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 B 1</td><td>中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理</td></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 B 2</td><td>六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 2、P 3、P 5 橋脚への運</td></tr></table>	単価表の項目	作業内容	捨土掘削 土砂（表土）C 1	1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等	捨土掘削 土砂（表土）C 2	1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）	単価表の項目	検測の単位	2 - (4) 捨土掘削		土砂（表土）C 1	m ³	土砂（表土）C 2	m ³	単価表の項目	作業内容	構造物掘削 普通部 B 1	中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理	構造物掘削 普通部 B 2	六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 2、P 3、P 5 橋脚への運	2 6 - 3 捨土掘削 (1) 種別 捨土掘削の単価表の項目及び作業内容は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>捨土掘削 土砂（表土）C 1</td><td>1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等</td></tr><tr><td>捨土掘削 土砂（表土）C 2</td><td>1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）</td></tr></table> (2) 施工 本線外盛土場における盛土管理は下部路体相当仕上げとする。 その施工層厚及び施工管理の基準は「土工施工管理要領」に示す基準に拠らなければならない。 (3) 支払 共通仕様書の 2 - 6 - 7 「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2 - (4) 捨土掘削</td><td></td></tr><tr><td>土砂（表土）C 1</td><td>m³</td></tr><tr><td>土砂（表土）C 2</td><td>m³</td></tr></table> 2 6 - 4 構造物掘削 (1) 種別 共通仕様書 2 - 8 - 1 「定義」（1）に規定する構造物掘削の単価表の項目及び作業内容は、下記の通りとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 B 1</td><td>中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理</td></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 B 2</td><td>六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 1、P 2、P 3、P 5 橋脚への運</td></tr></table>	単価表の項目	作業内容	捨土掘削 土砂（表土）C 1	1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等	捨土掘削 土砂（表土）C 2	1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）	単価表の項目	検測の単位	2 - (4) 捨土掘削		土砂（表土）C 1	m ³	土砂（表土）C 2	m ³	単価表の項目	作業内容	構造物掘削 普通部 B 1	中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理	構造物掘削 普通部 B 2	六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 1、P 2、P 3、P 5 橋脚への運
単価表の項目	作業内容																																									
捨土掘削 土砂（表土）C 1	1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等																																									
捨土掘削 土砂（表土）C 2	1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）																																									
単価表の項目	検測の単位																																									
2 - (4) 捨土掘削																																										
土砂（表土）C 1	m ³																																									
土砂（表土）C 2	m ³																																									
単価表の項目	作業内容																																									
構造物掘削 普通部 B 1	中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理																																									
構造物掘削 普通部 B 2	六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 2、P 3、P 5 橋脚への運																																									
単価表の項目	作業内容																																									
捨土掘削 土砂（表土）C 1	1）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、積込 2）本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等																																									
捨土掘削 土砂（表土）C 2	1）工事用道路 中 STA. 743+86～STA. 744+17における土砂（土質区分：土砂 E）の掘削、集積（大型土のうの中詰土に使用）																																									
単価表の項目	検測の単位																																									
2 - (4) 捨土掘削																																										
土砂（表土）C 1	m ³																																									
土砂（表土）C 2	m ³																																									
単価表の項目	作業内容																																									
構造物掘削 普通部 B 1	中野川橋部 1）中野川橋 P 1 ～ P 4 橋脚の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場①および掘削土仮置場②への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場①および掘削土仮置場②における仮置き土の積込 4）工事用道路 東 STA. 738+40～STA. 739+06への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等 5）中野川橋 A 1 橋台、P 2、P 3、P 4 橋脚への運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、含水比の調整等 6）余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理																																									
構造物掘削 普通部 B 2	六郎次川橋部 1）六郎次川橋 P 1 ～ P 5 橋脚、既設仮栈橋 A 1 ・ A 2 橋台の掘削 2）掘削土の掘削土仮置場③および掘削土仮置場④への運搬、仮置き 3）掘削土仮置場③および掘削土仮置場④における仮置き土の積込 4）六郎次川橋 A 1 橋台、六郎次川橋 P 1、P 2、P 3、P 5 橋脚への運																																									

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																
特記仕様書 (30 頁) 26-4. 構造物 掘削	<table><tr><td></td><td>搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理</td></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 C 1</td><td>工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 2</td><td>1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。</td></tr></table>		搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理	構造物掘削 普通部 C 1	工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等	構造物掘削 特殊部 B 1	1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。	構造物掘削 特殊部 B 2	1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。	<table><tr><td></td><td>の運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6) 工事用道路 中 STA. 741+80～STA. 743+12への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 7 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理</td></tr><tr><td>構造物掘削 普通部 C 1</td><td>工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 2</td><td>1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。</td></tr></table>		の運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6) 工事用道路 中 STA. 741+80～STA. 743+12への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 7 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理	構造物掘削 普通部 C 1	工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等	構造物掘削 特殊部 B 1	1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。	構造物掘削 特殊部 B 2	1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。
	搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理																	
構造物掘削 普通部 C 1	工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等																	
構造物掘削 特殊部 B 1	1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。																	
構造物掘削 特殊部 B 2	1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。																	
	の運搬、裏込め、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 既設仮栈橋 A 1・A 2 橋台への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 6) 工事用道路 中 STA. 741+80～STA. 743+12への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 7 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理																	
構造物掘削 普通部 C 1	工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所 1) 工事用道路 東 STA. 728+60～STA. 733+54における土砂の掘削 2) 掘削土の積込、本線内盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) 掘削土の積込、本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等																	
構造物掘削 特殊部 B 1	1) 中野川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、掘削土仮置場①への仮置き、掘削土仮置場①における仮置き土の中野川橋 A 1 橋台基礎ぐいへの運搬、埋戻し 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、中野川橋 P 1 への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 5) 余剰土は本線外盛土場①への運搬、敷均し、締固め、整形、含水比の調整等、本線外盛土場における盛土管理 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマによるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。																	
構造物掘削 特殊部 B 2	1) 六郎次川橋 A 1 橋台部における親杭横矢板及び腹起しの設置、撤去 2) 基礎ぐいの施工基面までの掘削及び親杭横矢板背面ウイング部の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 3) グラウンドアンカーの打設、除去 4) 躯体施工時の掘削、六郎次川橋 P 4 橋脚部への運搬、埋戻し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等 なお、親杭横矢板の設置は電動式バイプロハンマ（ウォータージェット併用）によるものとし、撤去は電動式バイプロハンマによるものとする。 仮設材について、調達が困難な場合は、本特記仕様書 2 7－8「材料調達に伴う変更」により取り扱うものとする。																	
	30	30																

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																																																						
特記仕様書（33頁） 26-8. 用排水構造物工 26-9. 基礎杭	26-7 基礎工 (1) 種別 共通仕様書4-20「基礎工」に次の事項を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>基礎工 コンクリート基礎工 A (F)</td><td>コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm</td><td>基礎材あり</td></tr></table> (2) 支払 共通仕様書4-20-5「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>4-(17)</td><td>基礎工 コンクリート基礎工 A (F)</td><td>m</td></tr></table> 26-8 用排水構造物工 (1) 種別 共通仕様書5-4「用排水構造物工」に次の事項を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>図面表示</th></tr><tr><td>用排水管 P(Po-B)・φD</td><td>高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管</td><td>P(Po-B)・φD</td></tr></table> 上表の用排水溝のφDのDは管径（m）を示す。 (2) 支払 共通仕様書5-4-5「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(2)</td><td>用排水管 P(Po-B)・φD</td><td>m</td></tr></table> 26-9 基礎杭 共通仕様書7-2-4「場所打ちコンクリート杭の施工」に下記を追加する。 (1) 場所打ちコンクリート杭（機械掘削） 7) 掘削に伴い発生した残土処理については、中野川橋A1橋台基礎杭の埋戻し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。余剰土は本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 33	単価表の項目	区分内容	備考	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm	基礎材あり		単価表の項目	検測の単位	4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	m	単価表の項目	内 容	図面表示	用排水管 P(Po-B)・φD	高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管	P(Po-B)・φD		単価表の項目	検測の単位	5-(2)	用排水管 P(Po-B)・φD	m	26-7 基礎工 (1) 種別 共通仕様書4-20「基礎工」に次の事項を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>基礎工 コンクリート基礎工 A (F)</td><td>コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm</td><td>基礎材あり</td></tr></table> (2) 支払 共通仕様書4-20-5「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>4-(17)</td><td>基礎工 コンクリート基礎工 A (F)</td><td>m</td></tr></table> 26-8 用排水構造物工 (1) 種別 共通仕様書5-4「用排水構造物工」に次の事項を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>図面表示</th></tr><tr><td>用排水溝 Bf・a・b (R)</td><td>仮設物設置撤去工で撤去したBfを再設置するもの</td><td>Bf-a-b(R)</td></tr><tr><td>用排水管 P(Po-B)・φD</td><td>高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管</td><td>P(Po-B)・φD</td></tr></table> 上表の用排水溝のφDのDは管径（m）を示す。 (2) 支払 共通仕様書5-4-5「支払」に下記を追加する。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(1)</td><td>用排水溝 Bf・a・b (R)</td><td>m</td></tr><tr><td>5-(2)</td><td>用排水管 P(Po-B)・φD</td><td>m</td></tr></table> 26-9 基礎杭 共通仕様書7-2-4「場所打ちコンクリート杭の施工」に下記を追加する。 (1) 場所打ちコンクリート杭（機械掘削） 7) 掘削に伴い発生した残土処理については、本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 33	単価表の項目	区分内容	備考	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm	基礎材あり		単価表の項目	検測の単位	4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	m	単価表の項目	内 容	図面表示	用排水溝 Bf・a・b (R)	仮設物設置撤去工で撤去したBfを再設置するもの	Bf-a-b(R)	用排水管 P(Po-B)・φD	高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管	P(Po-B)・φD		単価表の項目	検測の単位	5-(1)	用排水溝 Bf・a・b (R)	m	5-(2)	用排水管 P(Po-B)・φD	m
単価表の項目	区分内容	備考																																																						
基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm	基礎材あり																																																						
	単価表の項目	検測の単位																																																						
4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	m																																																						
単価表の項目	内 容	図面表示																																																						
用排水管 P(Po-B)・φD	高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管	P(Po-B)・φD																																																						
	単価表の項目	検測の単位																																																						
5-(2)	用排水管 P(Po-B)・φD	m																																																						
単価表の項目	区分内容	備考																																																						
基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	コンクリートブロック積みの基礎をいい、裏込めコンクリート厚20cmのものをいう。 基礎幅600mm 高さ400mm	基礎材あり																																																						
	単価表の項目	検測の単位																																																						
4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工 A (F)	m																																																						
単価表の項目	内 容	図面表示																																																						
用排水溝 Bf・a・b (R)	仮設物設置撤去工で撤去したBfを再設置するもの	Bf-a-b(R)																																																						
用排水管 P(Po-B)・φD	高密度ポリエチレン管を使用した仮排水管	P(Po-B)・φD																																																						
	単価表の項目	検測の単位																																																						
5-(1)	用排水溝 Bf・a・b (R)	m																																																						
5-(2)	用排水管 P(Po-B)・φD	m																																																						

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																		
特記仕様書（34頁） 26-9. 基礎杭	（2） 場所打ちコンクリート杭（人力掘削） 9）人力掘削，φ 9 0 0 0 の掘削に伴い発生した残土処理については、中野川橋 A 1 橋台の埋戻し、裏込め、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。余剰土は本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 1 0）人力掘削，φ 2 5 0 0 の掘削に伴い発生した残土処理については、六郎次川橋 P 4 橋脚部へ運搬し、埋戻し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。また、仮置きして六郎次川橋 A 1 橋台部へ運搬し、埋戻し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。余剰土は本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 （3）残土処理（盛土管理） 本線外盛土場における盛土管理は下部路体相当仕上げとする。 その施工層厚及び施工管理の基準は「土工施工管理要領」に示す基準に拠らなければならない。 2 6－1 0 鉄筋工 （1）種別 共通仕様書 8－4－2 「鉄筋の種別」に下記の項目を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>使用箇所</th><th>継手の種類</th></tr><tr><td>A（E）</td><td>中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの</td><td>重ね継手</td></tr><tr><td>C（E）</td><td>中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの</td><td>機械式鉄筋定着</td></tr></table> （2）適用すべき諸基準 共通仕様書 8－4－3 「適用すべき諸基準」に下記の項目を追加する。 エポキシ樹脂塗装を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 改訂版（平成 1 5 年 1 1 月 土木学会） （3）支払 共通仕様書 8－4－7 「支払」に下記を追加する。 鉄筋 A（E）、C（E）の支払は前項の規定により検測された数量に対し、それぞれ 1 t 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行うエポキシ樹脂塗装費用と現場までの輸送費、鉄筋の加工、組み立て、据付け等の鉄筋の施工に要する材料・労力、機械器具等鉄筋の施工を完成させるために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。	単価表の項目	使用箇所	継手の種類	A（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	重ね継手	C（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	機械式鉄筋定着	（2） 場所打ちコンクリート杭（人力掘削） 9）人力掘削，φ 9 0 0 0 の掘削に伴い発生した残土処理については、中野川橋 A 1 橋台の埋戻し、裏込め、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。余剰土は本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 1 0）人力掘削，φ 2 5 0 0 の掘削に伴い発生した残土処理については、六郎次川橋 P 4 橋脚部へ運搬し、埋戻し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。余剰土は本線外盛土場①へ運搬し、敷均し、締固め、整形及び含水比の調整等、盛土管理を行うものとする。なお、費用については、場所打ちコンクリート杭の契約単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。 （3）残土処理（盛土管理） 本線外盛土場における盛土管理は下部路体相当仕上げとする。 その施工層厚及び施工管理の基準は「土工施工管理要領」に示す基準に拠らなければならない。 2 6－1 0 鉄筋工 （1）種別 共通仕様書 8－4－2 「鉄筋の種別」に下記の項目を追加する。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>使用箇所</th><th>継手の種類</th></tr><tr><td>A（E）</td><td>中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの</td><td>重ね継手</td></tr><tr><td>C（E）</td><td>中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの</td><td>機械式鉄筋定着</td></tr></table> （2）適用すべき諸基準 共通仕様書 8－4－3 「適用すべき諸基準」に下記の項目を追加する。 エポキシ樹脂塗装を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 改訂版（平成 1 5 年 1 1 月 土木学会） （3）支払 共通仕様書 8－4－7 「支払」に下記を追加する。 鉄筋 A（E）、C（E）の支払は前項の規定により検測された数量に対し、それぞれ 1 t 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行うエポキシ樹脂塗装費用と現場までの輸送費、鉄筋の加工、組み立て、据付け等の鉄筋の施工に要する材料・労力、機械器具等鉄筋の施工を完成させるために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。	単価表の項目	使用箇所	継手の種類	A（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	重ね継手	C（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	機械式鉄筋定着
単価表の項目	使用箇所	継手の種類																		
A（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	重ね継手																		
C（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	機械式鉄筋定着																		
単価表の項目	使用箇所	継手の種類																		
A（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	重ね継手																		
C（E）	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台において、鉄筋規格SD345でエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用するもの	機械式鉄筋定着																		

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象

特記仕様書（38 頁）
26-15. 交通規制工

訂正前

	P(H)-1-φ0.50 De [^] (D) 0.50・0.50・0.50のふた 下部工の構造物取壊し 既設仮栈橋橋台の躯体
構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し（Type A）	土工の構造物取壊し As-C 下部工における構造物取壊し アスファルト舗装（t=5cm）

（2）施工
既設用排水構造物の取壊しは、撤去する原位置で取り壊すものとする。
取り壊しは機械施工とし、供用路線に飛散等交通の影響が生じないよう行うものとする。

（3）支払
共通仕様書 18-12-5「支払」に下記の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
18-（17） 構造物等取壊し工	
コンクリート構造物取壊し（Type A）	m ³
コンクリート構造物取壊し（Type B）	m ³
アスファルト舗装版取壊し（Type A）	m ²

26-15 交通規制工
26-15-1 種別
共通仕様書 19-3-2「種別」に規定する交通規制箇所、交通規制内の施工内容及び規制時間等については下表のとおりとする。

単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間
路肩規制 A	磐越自動車道 上り線 西会津IC～津川IC	アスカーブの取壊し コンクリートシールの取壊し 仮設防護柵 設置工 目隠し板の設置・撤去	8：30～17：30 (9：00～17：00)

① 各単価項目に含まれる交通保安要員の配置場所及び人数については設計図に示す通りとする。
② 上表の規制時間とは、1 回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置時間（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。
③ （ ）内の時間は、交通規制内の施工可能時間を示す。
④ 休憩時間における交代要員の配置に必要となる労力については交通規制工に含むものとする。
なお、受注者は工事規制による著しい渋滞、交通の危険又はそれらの恐れがある場合及び異常気象時には監督員の指示により規制開始の延期または規制解除（工事中止）する措置を講ずるものとする。これらの措置によるもの等受注者の責によらず交通規制箇所及び交通規制内の施工可能時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定め

訂正後

	P(H)-1-φ0.50 De [^] (D) 0.50・0.50・0.50のふた 下部工の構造物取壊し 既設仮栈橋橋台の躯体
構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し（Type A）	土工の構造物取壊し As-C 下部工における構造物取壊し アスファルト舗装（t=5cm）

（2）施工
既設用排水構造物の取壊しは、撤去する原位置で取り壊すものとする。
取り壊しは機械施工とし、供用路線に飛散等交通の影響が生じないよう行うものとする。

（3）支払
共通仕様書 18-12-5「支払」に下記の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
18-（17） 構造物等取壊し工	
コンクリート構造物取壊し（Type A）	m ³
コンクリート構造物取壊し（Type B）	m ³
アスファルト舗装版取壊し（Type A）	m ²

26-15 交通規制工
26-15-1 種別
共通仕様書 19-3-2「種別」に規定する交通規制箇所、交通規制内の施工内容及び規制時間等については下表のとおりとする。

単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間
路肩規制 A	磐越自動車道 上り線 西会津IC～津川IC	アスカーブの取壊し コンクリートシールの取壊し 仮設防護柵 設置工 目隠し板の設置・撤去	8：30～18：00 (9：00～17：00)

① 各単価項目に含まれる交通保安要員の配置場所及び人数については設計図に示す通りとする。
② 上表の規制時間とは、1 回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置時間（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。
③ （ ）内の時間は、交通規制内の施工可能時間を示す。
④ 休憩時間における交代要員の配置に必要となる労力については交通規制工に含むものとする。
なお、受注者は工事規制による著しい渋滞、交通の危険又はそれらの恐れがある場合及び異常気象時には監督員の指示により規制開始の延期または規制解除（工事中止）する措置を講ずるものとする。これらの措置によるもの等受注者の責によらず交通規制箇所及び交通規制内の施工可能時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定め

38

38

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象

特記仕様書（40 頁）
26-16. 交通保安要員

訂正前

26-16 交通保安要員
26-16-1 種別
(1) 共通仕様書19-4-2「種別」に下表を追加する。

単価表の項目	配置時間	交替要員の計上	備考
交通保安要員 交通監視員	9:00～17:00	無	
交通保安要員 交通誘導警備員B	8:00～17:00	無	

上表の配置時間は、作業時間とする。なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置時間が大幅に変更となった場合、これに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。なお、交替要員計上については、積算上の条件明示であり、交替要員の配置を指定するものではない。

(2) 共通仕様書19-4-2「種別」に規定する配置場所、配置人数、交替要員は次のとおりとする。

番号	単価表の項目	配置場所	配置人数	交替要員	配置期間
①	交通保安要員 交通監視員	本線路肩規制時の作業箇所	1人	—	交通規制実施の都度
②	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線と 工事用道路 東の交差部	1人	—	令和9年4月～ 令和12年10月
③	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線	1人	—	
④	交通保安要員 交通誘導警備員B	工事用道路 東	2人	—	
⑤	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道野沢安座線と 町道六郎次線の交差部	1人	—	
⑥	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道六郎次線と 工事用道路中の交差部	1人	—	
⑦	交通保安要員 交通誘導警備員B	本線外盛土場①出入口付近	1人	—	
⑧	交通保安要員 交通誘導警備員B	本線内盛土場①出入口付近	1人	—	
⑨	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線の規制時	2人	—	

訂正後

26-16 交通保安要員
26-16-1 種別
(1) 共通仕様書19-4-2「種別」に下表を追加する。

単価表の項目	配置時間	交替要員の計上	備考
交通保安要員 交通監視員	9:00～17:00	無	
交通保安要員 交通誘導警備員B	8:30～16:30	無	

上表の配置時間は、作業時間とする。なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置時間が大幅に変更となった場合、これに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。なお、交替要員計上については、積算上の条件明示であり、交替要員の配置を指定するものではない。

(2) 共通仕様書19-4-2「種別」に規定する配置場所、配置人数、交替要員は次のとおりとする。

番号	単価表の項目	配置場所	配置人数	交替要員	配置期間
①	交通保安要員 交通監視員	本線路肩規制時の作業箇所	1人	—	交通規制実施の都度
②	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線と 工事用道路 東の交差部	1人	—	令和9年4月～ 令和12年10月
③	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線	1人	—	
④	交通保安要員 交通誘導警備員B	工事用道路 東	2人	—	
⑤	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道野沢安座線と 町道六郎次線の交差部	1人	—	
⑥	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道六郎次線と 工事用道路中の交差部	1人	—	
⑦	交通保安要員 交通誘導警備員B	本線外盛土場①出入口付近	1人	—	
⑧	交通保安要員 交通誘導警備員B	本線内盛土場①出入口付近	1人	—	
⑨	交通保安要員 交通誘導警備員B	県道大久保野沢停車場線の規制時	2人	—	

40

40

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																																																																								
特記仕様書 (44 頁) 26-19. 軽量盛土工	2 6 - 1 9 軽量盛土工 (1) 定義 軽量盛土工とは、設計図書及び監督員の指示に従って軽量盛土材で工事用道路 東の施工を行うものをいう。 (2) 適用すべき諸基準 EDO-EPS工法設計・施工基準書 (2019年5月－発泡スチロール土木工法開発機構) (3) 種別 軽量盛土工の単価表の種別は下表に示すとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>軽量盛土工 A 1</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 A 2</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 A 3</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 1</td><td>軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、溶接 金網φ6mm@150×150、目地材を含む</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 2</td><td>軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 3</td><td>軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 4</td><td>軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 5</td><td>軽量盛土工の排水材の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 6</td><td>軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 7</td><td>軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 8</td><td>軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む</td><td></td></tr></table> (4) 施工 軽量盛土工の施工はEDO-E P S設計・施工基準書に準拠するものとする。 (5) 数量の検測 軽量盛土工の数量の検測は、設計数量 (m³、m²またはm) でおこなうものとする。	単価表の項目	区分内容	備考	軽量盛土工 A 1	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²		軽量盛土工 A 2	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²		軽量盛土工 A 3	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²		軽量盛土工 B 1	軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、溶接 金網φ6mm@150×150、目地材を含む		軽量盛土工 B 2	軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの		軽量盛土工 B 3	軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの		軽量盛土工 B 4	軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む		軽量盛土工 B 5	軽量盛土工の排水材の施工を行うもの		軽量盛土工 B 6	軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの		軽量盛土工 B 7	軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの		軽量盛土工 B 8	軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む		2 6 - 1 9 軽量盛土工 (1) 定義 軽量盛土工とは、設計図書及び監督員の指示に従って軽量盛土材で工事用道路 東の施工を行うものをいう。 (2) 適用すべき諸基準 EDO-EPS工法設計・施工基準書 (2019年5月－発泡スチロール土木工法開発機構) (3) 種別 軽量盛土工の単価表の種別は下表に示すとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>軽量盛土工 A 1</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 A 2</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 A 3</td><td>E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 1</td><td>軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、鉄筋 金網D13—150×150、目地材を含む</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 2</td><td>軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 3</td><td>軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 4</td><td>軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 5</td><td>軽量盛土工の排水材の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 6</td><td>軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 7</td><td>軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの</td><td></td></tr><tr><td>軽量盛土工 B 8</td><td>軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む</td><td></td></tr></table> (4) 施工 軽量盛土工の施工はEDO-E P S設計・施工基準書に準拠するものとする。 (5) 数量の検測 軽量盛土工の数量の検測は、設計数量 (m³、m²またはm) でおこなうものとする。	単価表の項目	区分内容	備考	軽量盛土工 A 1	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²		軽量盛土工 A 2	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²		軽量盛土工 A 3	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²		軽量盛土工 B 1	軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、鉄筋 金網D13—150×150、目地材を含む		軽量盛土工 B 2	軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの		軽量盛土工 B 3	軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの		軽量盛土工 B 4	軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む		軽量盛土工 B 5	軽量盛土工の排水材の施工を行うもの		軽量盛土工 B 6	軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの		軽量盛土工 B 7	軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの		軽量盛土工 B 8	軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む	
単価表の項目	区分内容	備考																																																																								
軽量盛土工 A 1	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²																																																																									
軽量盛土工 A 2	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²																																																																									
軽量盛土工 A 3	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²																																																																									
軽量盛土工 B 1	軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、溶接 金網φ6mm@150×150、目地材を含む																																																																									
軽量盛土工 B 2	軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 3	軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 4	軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む																																																																									
軽量盛土工 B 5	軽量盛土工の排水材の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 6	軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 7	軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 8	軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む																																																																									
単価表の項目	区分内容	備考																																																																								
軽量盛土工 A 1	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 20kN/m³) 許容圧縮応力度50KN/m²																																																																									
軽量盛土工 A 2	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 25kN/m³) 許容圧縮応力度70KN/m²																																																																									
軽量盛土工 A 3	E P Sブロック (設計単位体積重量0. 24kN/m³) 許容圧縮応力度100KN/m²																																																																									
軽量盛土工 B 1	軽量盛土工のコンクリート床版 (t=150mm) (24N/mm 2) を打設するもの コンクリート床版には型わく、残存型わく、鉄筋、鉄筋 金網D13—150×150、目地材を含む																																																																									
軽量盛土工 B 2	軽量盛土工の基礎碎石の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 3	軽量盛土工の敷き砂の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 4	軽量盛土工の水抜きパイプの施工を行うもの 水抜きパイプには吸出し防止材を含む																																																																									
軽量盛土工 B 5	軽量盛土工の排水材の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 6	軽量盛土工の裏込め碎石の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 7	軽量盛土工の壁面材の施工を行うもの																																																																									
軽量盛土工 B 8	軽量盛土工の上部調整コンクリートの施工を行うもの 型わく、目地、足場を含む																																																																									

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象

特記仕様書
(46 頁)

26-19. 軽量盛土工

26-20. 工事用仮橋

訂正前

特一（3）

単価表の項目

軽量盛土工

A 1

A 2

A 3

B 1

B 2

B 3

B 4

B 5

B 6

B 7

B 8

検測の単位

m³

m³

m³

m²

m²

m²

m

m²

m³

m²

m³

26-20 工事用仮橋

(1) 定義

工事用仮橋とは、設計図書及び監督員の指示に従って工事用仮橋を設置するものをいう。

(2) 種別

工事用仮橋の単価表の項目の種別は次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容	備考
工事用仮橋 上部工N（A） 設置	中野川仮橋上部工の主桁にプレートガーダー材を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 上部工N（B） 設置	中野川仮橋上部工の主桁にH形鋼を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 下部工N 設置	中野川仮橋の下部工を設置するもの。土留め工を含む。	
工事用仮橋 基礎ぐいN 設置	中野川仮橋の基礎ぐいを設置するもの。	
工事用仮橋 上部工R（A） 設置	六郎次川仮橋上部工の主桁にプレートガーダー材を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 上部工R（B） 設置	六郎次川仮橋上部工の主桁にH形鋼を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 下部工R 設置	六郎次川仮橋の下部工を設置するもの。土留め工を含む。	
工事用仮橋 基礎ぐいR 設置	六郎次川仮橋の基礎ぐいを設置するもの。	

46

訂正後

特一（3）

単価表の項目

軽量盛土工

A 1

A 2

A 3

B 1

B 2

B 3

B 4

B 5

B 6

B 7

B 8

検測の単位

m³

m³

m³

m³

m²

m²

m

m²

m³

m²

m³

26-20 工事用仮橋

(1) 定義

工事用仮橋とは、設計図書及び監督員の指示に従って工事用仮橋を設置するものをいう。

(2) 種別

工事用仮橋の単価表の項目の種別は次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容	備考
工事用仮橋 上部工N（A） 設置	中野川仮橋上部工の主桁にプレートガーダー材を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 上部工N（B） 設置	中野川仮橋上部工の主桁にH形鋼を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 下部工N 設置	中野川仮橋の下部工を設置するもの。土留め工を含む。	
工事用仮橋 基礎ぐいN 設置	中野川仮橋の基礎ぐいをダウンザホールハンマ工法にて設置するもの。	
工事用仮橋 上部工R（A） 設置	六郎次川仮橋上部工の主桁にプレートガーダー材を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 上部工R（B） 設置	六郎次川仮橋上部工の主桁にH形鋼を使用し設置するもの。	
工事用仮橋 下部工R 設置	六郎次川仮橋の下部工を設置するもの。土留め工を含む。	
工事用仮橋 基礎ぐいR 設置	六郎次川仮橋の基礎ぐいをダウンザホールハンマ工法にて設置するもの。	

46

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前	訂正後																																																																															
特記仕様書（49頁） 26-21. 仮設物設置・撤去工	（7）支払 工事用仮橋設置の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡・1t・1本当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う工事用仮橋設置の施工に要する材料・労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（4）工事用仮橋</td><td></td></tr><tr><td>上部工N（A） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>上部工N（B） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>下部工N 設置</td><td>t</td></tr><tr><td>基礎ぐいN 設置</td><td>本</td></tr><tr><td>上部工R（A） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>上部工R（B） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>下部工R 設置</td><td>t</td></tr><tr><td>基礎ぐいR 設置</td><td>本</td></tr></table> 26－21 仮設物設置・撤去工 （1）定義 仮設物設置・撤去工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工事に必要な仮設物を設置し、工事目的物等が完成した後に撤去することをいう。 （2）種別 仮設物設置・撤去工の単価表の種別は下表に示すとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置</td><td>本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。</td><td>購入品</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置</td><td>・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。</td><td>購入品</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去</td><td>・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。</td><td></td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置</td><td>・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。</td><td>購入品</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去</td><td>・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。</td><td></td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工</td><td>・単管架台を設置するもの</td><td></td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	特一（4）工事用仮橋		上部工N（A） 設置	㎡	上部工N（B） 設置	㎡	下部工N 設置	t	基礎ぐいN 設置	本	上部工R（A） 設置	㎡	上部工R（B） 設置	㎡	下部工R 設置	t	基礎ぐいR 設置	本	単価表の項目	区分内容	備考	仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。	購入品	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。	購入品	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。		仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。	購入品	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。		仮設物設置・撤去工	・単管架台を設置するもの		（7）支払 工事用仮橋設置の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡・1t・1本当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う工事用仮橋設置の施工に要する材料・労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（4）工事用仮橋</td><td></td></tr><tr><td>上部工N（A） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>上部工N（B） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>下部工N 設置</td><td>t</td></tr><tr><td>基礎ぐいN 設置</td><td>本</td></tr><tr><td>上部工R（A） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>上部工R（B） 設置</td><td>㎡</td></tr><tr><td>下部工R 設置</td><td>t</td></tr><tr><td>基礎ぐいR 設置</td><td>本</td></tr></table> 26－21 仮設物設置・撤去工 （1）定義 仮設物設置・撤去工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工事に必要な仮設物を設置し、工事目的物等が完成した後に撤去することをいう。 （2）種別 仮設物設置・撤去工の単価表の種別は下表に示すとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置</td><td>本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。</td><td>購入品 (中古品)</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置</td><td>・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。</td><td>購入品 (新品)</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去</td><td>・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。</td><td></td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置</td><td>・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。</td><td>購入品 (新品)</td></tr><tr><td>仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去</td><td>・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。</td><td></td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	特一（4）工事用仮橋		上部工N（A） 設置	㎡	上部工N（B） 設置	㎡	下部工N 設置	t	基礎ぐいN 設置	本	上部工R（A） 設置	㎡	上部工R（B） 設置	㎡	下部工R 設置	t	基礎ぐいR 設置	本	単価表の項目	区分内容	備考	仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。	購入品 (中古品)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。	購入品 (新品)	仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。		仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。	購入品 (新品)	仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。	
単価表の項目	検測の単位																																																																																
特一（4）工事用仮橋																																																																																	
上部工N（A） 設置	㎡																																																																																
上部工N（B） 設置	㎡																																																																																
下部工N 設置	t																																																																																
基礎ぐいN 設置	本																																																																																
上部工R（A） 設置	㎡																																																																																
上部工R（B） 設置	㎡																																																																																
下部工R 設置	t																																																																																
基礎ぐいR 設置	本																																																																																
単価表の項目	区分内容	備考																																																																															
仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。	購入品																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。	購入品																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。																																																																																
仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。	購入品																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。																																																																																
仮設物設置・撤去工	・単管架台を設置するもの																																																																																
単価表の項目	検測の単位																																																																																
特一（4）工事用仮橋																																																																																	
上部工N（A） 設置	㎡																																																																																
上部工N（B） 設置	㎡																																																																																
下部工N 設置	t																																																																																
基礎ぐいN 設置	本																																																																																
上部工R（A） 設置	㎡																																																																																
上部工R（B） 設置	㎡																																																																																
下部工R 設置	t																																																																																
基礎ぐいR 設置	本																																																																																
単価表の項目	区分内容	備考																																																																															
仮設物設置・撤去工 仮設防護柵 設置	本線路肩部へ仮設防護柵を設置するもの。	購入品 (中古品)																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板A 設置	・仮設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。 ・仮設防護柵設置工で設置した後速やかに設置するものとする。	購入品 (新品)																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板A 撤去	・仮設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。																																																																																
仮設物設置・撤去工 目隠し板B 設置	・既設防護柵に目隠し板を設置するもの。 ・使用する材料はすべて購入品とする。	購入品 (新品)																																																																															
仮設物設置・撤去工 目隠し板B 撤去	・既設防護柵に設置した目隠し板を撤去するもの。 ・特記8-2に定める冬季休止期間前に目隠し板を撤去、現地に仮置きするものとする。																																																																																

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所

数量
明細表
(3)
用排水
溝
Bf・
0.650・
0.415

誤

正誤区分

数量明細表(3)

番 号	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
項 目 番 号	4－(3)	4－(4)	4－(14)	4－(16)	4－(17)	5－(1)					5－(2)
項 目	種散布工	種吹付工	コンクリートブロック積工	裏込め砕石	基礎工	用排水溝					用排水管
		種吹付 A(人工基材)	コンクリートブロック積み(練) 控35cm		コンクリート基礎工 A(F)	PuL・0.30・0.30	PuL(S2)・0.30・0.30	Bf・0.300・0.200	Bf・0.650・0.415	U^(GL2)・0.30・0.30(F)	P(Po-B)・φ0.20(Sd-B)
単 位	m ²	m ²	m ²	m ³	m	m	m	m	m	m	m
土工			970.6	366.1	122.6	184.4					
中野川橋下部工										19.2	
六郎次川橋下部工								4.4			
工事用道路(土工・仮橋)	4,711.4	513.8				279.6	122.8	105.0		11.4	443.7
合 計 数 量	4,711.4	513.8	970.6	366.1	122.6	464.0	122.8	109.4	19.2	11.4	443.7
契 約 数 量	4,711	514	971	366	123	464	123	109	19	11	444

正

数量明細表(3)

番 号	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
項 目 番 号	4－(3)	4－(4)	4－(14)	4－(16)	4－(17)	5－(1)					5－(2)
項 目	種散布工	種吹付工	コンクリートブロック積工	裏込め砕石	基礎工	用排水溝					用排水管
		種吹付 A(人工基材)	コンクリートブロック積み(練) 控35cm		コンクリート基礎工 A(F)	PuL・0.30・0.30	PuL(S2)・0.30・0.30	Bf・0.300・0.200	Bf・0.650・0.415(R)	U^(GL2)・0.30・0.30(F)	P(Po-B)・φ0.20(Sd-B)
単 位	m ²	m ²	m ²	m ³	m	m	m	m	m	m	m
土工			970.6	366.1	122.6	184.4					
中野川橋下部工										19.2	
六郎次川橋下部工								4.4			
工事用道路(土工・仮橋)	4,711.4	513.8				279.6	122.8	105.0		11.4	443.7
合 計 数 量	4,711.4	513.8	970.6	366.1	122.6	464.0	122.8	109.4	19.2	11.4	443.7
契 約 数 量	4,711	514	971	366	123	464	123	109	19	11	444

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所		正誤区分												
数量 明細表 (9) 軽量盛 土 工 B1	誤	数量明細表(9)												
		番 号		89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
		項 目 番 号		特一(2)					特一(3)					
		項 目	撤去工					軽量盛土工						
			不法投棄禁止板	門扉	転落防止柵	視線誘導標	防雪柵	A1	A2	A3	B1	B2	B3	
		単 位	枚	箇所	m	箇所	箇所	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		土工												
		中野川橋下部工												
		六郎次川橋下部工												
		工事用道路(土工・仮橋)												
		1.0	1.0	26.0	3.0	1.0	4,149.6	2,107.8	9.3	719.4	467.4	467.4		
		合 計 数 量	1.0	1.0	26.0	3.0	1.0	4,149.6	2,107.8	9.3	719.4	467.4	467.4	
		契 約 数 量	1	1	26	3	1	4,150	2,108	9	719	467	467	

正	数量明細表(9)												
	番 号		89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
	項 目 番 号		特一(2)					特一(3)					
	項 目	撤去工					軽量盛土工						
		不法投棄禁止板	門扉	転落防止柵	視線誘導標	防雪柵	A1	A2	A3	B1	B2	B3	
	単 位	枚	箇所	m	箇所	箇所	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
	土工												
	中野川橋下部工												
	六郎次川橋下部工												
	工事用道路(土工・仮橋)												
		1.0	1.0	26.0	3.0	1.0	4,149.6	2,107.8	9.3	719.4	467.4	467.4	
		合 計 数 量	1.0	1.0	26.0	3.0	1.0	4,149.6	2,107.8	9.3	719.4	467.4	467.4
		契 約 数 量	1	1	26	3	1	4,150	2,108	9	719	467	467

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所

数量
明細表
(10)
工事用
仮橋
下部工
N設置

誤

数量明細表(10)

番 号	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
項 目 番 号	特一(3)					特一(4)					
項 目	軽量盛土工					工事用仮橋					
	B4	B5	B6	B7	B8	上部工N(A) 設置	上部工N(B) 設置	下部工N 設置	基礎ぐいN 設置	上部工R(A) 設置	上部工R(B) 設置
単 位	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	t	本	m ²	m ²
土工											
中野川橋下部工											
六郎次川橋下部工											
工事用道路(土工・仮橋)	374.0	3,049.7	774.6	1,647.3	129.1	272.0	1,135.0	465.268	127.0	296.0	320.0
合 計 数 量	374.0	3,049.7	774.6	1,647.3	129.1	272.0	1,135.0	465.268	127.0	296.0	320.0
契 約 数 量	374	3,050	775	1,647	129	272	1,135	465.27	127	296	320

正

数量明細表(10)

番 号	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
項 目 番 号	特一(3)					特一(4)					
項 目	軽量盛土工					工事用仮橋					
	B4	B5	B6	B7	B8	上部工N(A) 設置	上部工N(B) 設置	下部工N 設置	基礎ぐいN 設置	上部工R(A) 設置	上部工R(B) 設置
単 位	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	t	本	m ²	m ²
土工											
中野川橋下部工											
六郎次川橋下部工											
工事用道路(土工・仮橋)	374.0	3,049.7	774.6	1,647.3	129.1	272.0	1,135.0	304.620	127.0	296.0	320.0
合 計 数 量	374.0	3,049.7	774.6	1,647.3	129.1	272.0	1,135.0	304.620	127.0	296.0	320.0
契 約 数 量	374	3,050	775	1,647	129	272	1,135	304.62	127	296	320

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所

数量
明細表
(11)
工事用
仮橋
下部工
R 設置

誤

数量明細表(11)

番 号	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121
項 目 番 号	特－(4)		特－(5)							特－(6)	特－(7)
項 目	工事用仮橋		仮設物設置・撤去工							仮設標識工	待避所設置工
	下部工R 設置	基礎ぐいR 設置	仮設防護柵 設置	目隠し板A 設置	目隠し板A 撤去	目隠し板B 設置	目隠し板B 撤去	Bf・0.650・ 0.415(A) 設置	Bf・0.650・ 0.415(A) 撤去	A	A
単 位	t	本	m	m	m	m	m	m	m	基	箇所
土工			304.0	912.0	912.0	124.5	124.5			3.0	
中野川橋下部工								21.0	21.0		
六郎次川橋下部工											
工事用道路(土工・仮橋)	183.004	69.0									1.0
合 計 数 量	183.004	69.0	304.0	912.0	912.0	124.5	124.5	21.0	21.0	3.0	1.0
契 約 数 量	183.00	69	304	912	912	125	125	21	21	3	1

正

数量明細表(11)

番 号	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121
項 目 番 号	特－(4)		特－(5)							特－(6)	特－(7)
項 目	工事用仮橋		仮設物設置・撤去工							仮設標識工	待避所設置工
	下部工R 設置	基礎ぐいR 設置	仮設防護柵 設置	目隠し板A 設置	目隠し板A 撤去	目隠し板B 設置	目隠し板B 撤去	Bf・0.650・ 0.415(A) 設置	Bf・0.650・ 0.415(A) 撤去	A	A
単 位	t	本	m	m	m	m	m	m	m	基	箇所
土工			304.0	912.0	912.0	124.5	124.5			3.0	
中野川橋下部工								21.0	21.0		
六郎次川橋下部工											
工事用道路(土工・仮橋)	81.438	69.0									1.0
合 計 数 量	81.438	69.0	304.0	912.0	912.0	124.5	124.5	21.0	21.0	3.0	1.0
契 約 数 量	81.44	69	304	912	912	125	125	21	21	3	1

工事名）磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所

割掛対象表
工事用機械分解組立費（工事用仮橋）、仮設材等運搬費、非破壊検査試験費

誤

正誤区分

＜積算データ管理＞

*** 割掛対象表 ***

割掛項目 変動・固定の区分	◎ 共通仮設費	工事用機械分解組立費（下部工）	工事用機械分解組立費（機械掘削場所打ち）	工事用機械分解組立費（人力掘削場所打ち）	工事（路）用機械分解組立費（工事用道	工事（橋）用機械分解組立費（工事用仮	仮設材等運搬費	地質調査等費	アンカー工の多サイクル確認試験	非破壊検査試験費	◎ 準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落し装置費	作業ヤード整備費	防護柵レール撤去設置費
	割掛先契約項目	固	固	固	固	固	固	固	固	固		固	固	固	固
盛土工					○							○	○	○	
盛土工 B（C 2）					○							○	○	○	
盛土工 B（C 3）					○							○	○	○	
盛土工 B（C 4）					○							○	○	○	
構造物掘削												○	○	○	○
普通部 B 1												○	○	○	○
普通部 B 2												○	○	○	○
普通部 C 1												○	○	○	○
特殊部 B 1		○				○			○			○	○	○	○
特殊部 B 2		○				○			○					○	
基礎杭			○												
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ 1 5 0 0）					○										
場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ 2 5 0 0）															
場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ 9 0 0 0）															
コンクリート										○					
A 1－3										○					
B 2－1										○					

注）変動・固定の部分・・・“固”は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。

正

＜積算データ管理＞

*** 割掛対象表 ***

割掛項目 変動・固定の区分	◎ 共通仮設費	工事用機械分解組立費（下部工）	工事用機械分解組立費（機械掘削場所打ち）	工事用機械分解組立費（人力掘削場所打ち）	工事（路）用機械分解組立費（工事用道	工事（橋）用機械分解組立費（工事用仮	仮設材等運搬費	地質調査等費	アンカー工の多サイクル確認試験	非破壊検査試験費	◎ 準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落し装置費	作業ヤード整備費	防護柵レール撤去設置費
	割掛先契約項目	固	固	固	固	固	固	固	固	固		固	固	固	固
盛土工					○							○	○	○	
盛土工 B（C 2）					○							○	○	○	
盛土工 B（C 3）					○							○	○	○	
盛土工 B（C 4）					○							○	○	○	
構造物掘削												○	○	○	○
普通部 B 1												○	○	○	○
普通部 B 2												○	○	○	○
普通部 C 1												○	○	○	○
特殊部 B 1		○					○		○			○	○	○	○
特殊部 B 2		○					○		○					○	
基礎杭			○												
場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ 1 5 0 0）					○										
場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ 2 5 0 0）															
場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ 9 0 0 0）															
コンクリート										○					
A 1－3															
B 2－1															

注）変動・固定の部分・・・“固”は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

対象	訂正前				訂正後			
割掛対象表参考内訳書	割掛対象表参考内訳書				割掛対象表参考内訳書			
	【共通仮設費】				【共通仮設費】			
	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
	工事用機械分解組立費(下部工)	下部工に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラ型クレーン 150t-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋 クローラ型クレーン 150t-1台-1往復 運搬距離117km(片道) 六郎次川橋		工事用機械分解組立費(下部工)	下部工に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラ型クレーン 150t-1台-2往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋 クローラ型クレーン 150t-1台-2往復 運搬距離117km(片道) 六郎次川橋	
	工事用機械分解組立費(場所打ちコンクリート杭(機械掘削))	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	オールケーシング掘削機(スキッド式・全旋回型)掘削径1.5m-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋 クローラ型クレーン 150t-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋		工事用機械分解組立費(場所打ちコンクリート杭(機械掘削))	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	オールケーシング掘削機(スキッド式・全旋回型)掘削径1.5m-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋 クローラ型クレーン 150t-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋	
	工事用機械分解組立費(場所打ちコンクリート杭(人力掘削))	場所打ちコンクリート杭(人力掘削)に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	油圧クラムシェル テレスコピック0.4m3-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 六郎次川橋		工事用機械分解組立費(場所打ちコンクリート杭(人力掘削))	場所打ちコンクリート杭(人力掘削)に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	油圧クラムシェル テレスコピック0.4m3-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 六郎次川橋	
	工事用機械分解組立費(工用用道路)	工用用道路に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザー-20t級-1台-3往復 運搬距離114km(片道) 工用用道路 東 ブルドーザー-21t級-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 工用用道路 東 湿地ブルドーザー-20t級-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 工用用道路 中 ブルドーザー-21t級-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 工用用道路 中		工事用機械分解組立費(工用用道路)	工用用道路に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザー-20t級-1台-3往復 運搬距離114km(片道) 工用用道路 東 ブルドーザー-21t級-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 工用用道路 東 湿地ブルドーザー-20t級-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 工用用道路 中 ブルドーザー-21t級-1台-1往復 運搬距離116km(片道) 工用用道路 中	
	工事用機械分解組立費(工用用仮橋)	工用用仮橋に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラ型 200t-1台-2往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋仮橋 クローラ型 200t-1台-2往復 運搬距離117km(片道) 六郎次川橋仮橋		工事用機械分解組立費(工用用仮橋)	工用用仮橋に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラ型 200t-1台-1往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋仮橋 クローラ型 120t-1台-2往復 運搬距離114km(片道) 中野川橋仮橋 クローラ型 200t-1台-2往復 運搬距離117km(片道) 六郎次川橋仮橋	
	仮設材運搬費	仮設材等(仮橋、鋼矢板、H形鋼、覆工板、仮設防護柵等)の運搬に要する費用をいう。	中野川橋仮橋 運搬距離114km(片道) 中野川橋A1橋台 運搬距離114km(片道) 六郎次川橋仮橋 運搬距離116km(片道) 六郎次川橋A1橋台 運搬距離116km(片道) 仮設防護柵工 運搬距離138km(片道)		仮設材運搬費	仮設材等(仮橋、鋼矢板、H形鋼、覆工板、仮設防護柵等)の運搬に要する費用をいう。	中野川橋仮橋 運搬距離114km(片道) 中野川橋A1橋台 運搬距離114km(片道) 六郎次川橋仮橋 運搬距離116km(片道) 六郎次川橋A1橋台 運搬距離116km(片道) 仮設防護柵工 運搬距離138km(片道)	
	地質調査等費	平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験に要する費用をいう。	平板載荷試験-2箇所 EPS 2箇所		地質調査等費	平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験に要する費用をいう。	平板載荷試験-2箇所 EPS 2箇所	
	アンカー工の多サイクル確認試験費	のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	多サイクル確認試験-6箇所 中野川橋A1-3箇所 六郎次川橋A1-3箇所		アンカー工の多サイクル確認試験費	のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	多サイクル確認試験-6箇所 中野川橋A1-3箇所 六郎次川橋A1-3箇所	
	非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	側面作業-160箇所 中野川橋A1-8箇所、P1-8箇所、P2-20箇所、P3P4-各12箇所(4箇所/ロット) 六郎次川橋A1-8箇所、P1P2P5-各16箇所、P3-20箇所、P4-24箇所(4箇所/ロット)		非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	側面作業-160箇所 中野川橋A1-8箇所、P1-8箇所、P2-20箇所、P3P4-各12箇所(4箇所/ロット) 六郎次川橋A1-8箇所、P1P2P5-各16箇所、P3-20箇所、P4-24箇所(4箇所/ロット)	

工事名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

修正箇所

正誤区分

設計図

(橋梁

下部

工・中

野川

橋)

1/57

中野川

橋 数

量総括

表

誤

中野川橋 数量総括表															1 / 57	
下 部 工 施 工																
項 目	種 別		単 位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	A2橋台	A2橋台を除いた合計	合 計	適 用				
構造物掘削	特殊部		㎡	1198.4	-	-	-	-	1522.5	1198.4	2720.9					
	普通部		㎡	-	733.0	1105.9	1560.8	2016.5	-	5416.2	5416.2					
	表込め材B		㎡	604.4	-	-	-	-	649.9	604.4	1254.3					
地下排水工	Du-Pφ0.15・0.50・0.50		m	8.9	-	-	-	-	9.8	8.9	18.7					
基礎材	B		㎡	17.8	-	-	-	-	16.6	17.8	34.4					
目地材	t=20mm		㎡	7.2	-	-	-	-	7.2	7.2	14.4					
基礎杭	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削, φ1500)		m	90.0	-	-	-	-	94.5	90.0	184.5					
	場所打ちコンクリート杭 (人力掘削, φ9000)		m	-	9.0	15.0	-	-	-	24.0	24.0					
コンクリート	A1-3	躯体	㎡	297.5	277.2	571.2	383.6	403.2	224.0	1932.7	2156.7					
		底版	㎡	192.2	-	-	486.0	342.0	199.5	1020.2	1219.7					
	B2-1	場所打ちコンクリート杭 (人力掘削)	㎡	-	572.6	954.3	-	-	-	1526.9	1526.9					
	Y1-1	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削)	㎡	167.4	-	-	-	-	174.6	167.4	342.0	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削) に含む				
	D1-1	均しコンクリート	㎡	10.5	-	-	16.7	11.8	9.9	39.0	48.9					
型わく	C		㎡	418.9	217.8	448.8	413.9	445.8	337.3	1945.2	2282.5					
	R		㎡	-	-	-	40.5	-	-	40.5	40.5					
	D		㎡	12.8	-	-	14.9	12.1	12.8	39.8	52.6					
鉄筋	A	一般構造物	D13	t	0.116	-	-	-	-	0.064	0.116	0.180	SD345			
			D16~D25	t	8.228	5.227	9.564	7.927	7.989	6.023	38.935	44.958	SD345			
			D29~D32	t	19.877	-	-	-	4.512	16.321	24.389	40.710	SD345			
			D35	t	4.787	-	-	-	-	2.478	4.787	7.265	SD345			
			D38	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			D51	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			合計	t	33.008	5.227	9.564	7.927	12.501	24.886	68.227	93.113	SD345			
			D16~D25	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
	B	一般構造物	D29~D32	t	-	-	-	28.479	8.479	-	36.958	36.958	SD345			
			D35	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			D38	t	-	24.747	15.197	51.788	53.733	-	145.465	145.465	SD345			
			D51	t	-	-	59.480	-	-	-	59.480	59.480	SD345			
			合計	t	-	24.747	74.677	80.267	62.212	-	241.903	241.903	SD345			
	C	一般構造物	D16~D25	t	1.634	5.377	13.925	16.797	11.648	1.268	49.381	50.649	SD345			
			合計	t	1.634	5.377	13.925	16.797	11.648	1.268	49.381	50.649	SD345			
	A	基礎杭	D16~D25	t	0.882	7.996	33.162	-	-	0.882	42.040	42.922	SD345			
			D32	t	-	5.540	-	-	-	-	5.540	5.540	SD345			
			合計	t	0.882	13.536	33.162	-	-	0.882	47.580	48.462	SD345			
	B	基礎杭	D51	t	-	-	49.687	-	-	-	49.687	49.687	SD345			
			合計	t	-	-	49.687	-	-	-	49.687	49.687	SD345			
	Y	基礎杭	D16~D25	t	16.542	-	-	-	-	20.520	16.542	37.062	SD345			
			合計	t	16.542	-	-	-	-	20.520	16.542	37.062	SD345			
	A(E)	一般構造物	D16~D25	t	1.268	-	-	-	-	1.259	1.268	2.527	エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345			
			合計	t	1.268	-	-	-	-	1.259	1.268	2.527	エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345			
	C(E)	一般構造物	D16~D25	t	1.220	-	-	-	-	0.788	1.220	2.008	エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345			
			合計	t	1.220	-	-	-	-	0.788	1.220	2.008	エポキシ樹脂塗装鉄筋 SD345			
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeB)		㎡	-	-	1.77	-	-	-	1.77	1.77					
仮設物設置・撤去工	設置 (BF-0.65-0.415)		m	-	-	21.0	-	-	-	21.0	21.0					
仮設物設置・撤去工	撤去 (BF-0.65-0.415)		m	-	-	21.0	-	-	-	21.0	21.0					
用排水溝	Ds-BF-0.65-0.415		m	-	-	19.2	-	-	-	19.2	19.2					

磐城自動車道 中野川橋下部工工事

図面の種類

中野川橋 数量総括表

縮 尺

-

図面番号

設計会社名

株式会社 建設技術研究所

施工会社名

東日本高速道路株式会社 新潟支社

事務所名

新潟工事業務所

正

中野川橋 数量総括表															1 / 57	
下 部 工 施 工																
項 目	種 別		単 位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	A2橋台	A2橋台を除いた合計	合 計	適 用				
構造物掘削	特殊部		㎡	1198.4	-	-	-	-	1522.5	1198.4	2720.9					
	普通部		㎡	-	733.0	1105.9	1560.8	2016.5	-	5416.2	5416.2					
	表込め材B		㎡	604.4	-	-	-	-	649.9	604.4	1254.3					
地下排水工	Du-Pφ0.15・0.50・0.50		m	8.9	-	-	-	-	9.8	8.9	18.7					
基礎材	B		㎡	17.8	-	-	-	-	16.6	17.8	34.4					
目地材	t=20mm		㎡	7.2	-	-	-	-	7.2	7.2	14.4					
基礎杭	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削, φ1500)		m	90.0	-	-	-	-	94.5	90.0	184.5					
	場所打ちコンクリート杭 (人力掘削, φ9000)		m	-	9.0	15.0	-	-	-	24.0	24.0					
コンクリート	A1-3	躯体	㎡	297.5	277.2	571.2	383.6	403.2	224.0	1932.7	2156.7					
		底版	㎡	192.2	-	-	486.0	342.0	199.5	1020.2	1219.7					
	B2-1	場所打ちコンクリート杭 (人力掘削)	㎡	-	572.6	954.3	-	-	-	1526.9	1526.9					
	Y1-1	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削)	㎡	167.4	-	-	-	-	174.6	167.4	342.0	場所打ちコンクリート杭 (機械掘削) に含む				
	D1-1	均しコンクリート	㎡	10.5	-	-	16.7	11.8	9.9	39.0	48.9					
型わく	C		㎡	418.9	217.8	448.8	413.9	445.8	337.3	1945.2	2282.5					
	R		㎡	-	-	-	40.5	-	-	40.5	40.5					
	D		㎡	12.8	-	-	14.9	12.1	12.8	39.8	52.6					
鉄筋	A	一般構造物	D13	t	0.116	-	-	-	-	0.064	0.116	0.180	SD345			
			D16~D25	t	8.228	5.227	9.564	7.927	7.989	6.023	38.935	44.958	SD345			
			D29~D32	t	19.877	-	-	-	4.512	16.321	24.389	40.710	SD345			
			D35	t	4.787	-	-	-	-	2.478	4.787	7.265	SD345			
			D38	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			D51	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			合計	t	33.008	5.227	9.564	7.927	12.501	24.886	68.227	93.113	SD345			
			D16~D25	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
	B	一般構造物	D29~D32	t	-	-	-	28.479	8.479	-	36.958	36.958	SD345			
			D35	t	-	-	-	-	-	-	-	-	SD345			
			D38	t	-	24.747	15.197	51.788	53.733	-	145.465	145.465	SD345			
			D51	t	-	-	59.480	-	-	-	59.480	59.480	SD345			
			合計	t	-	24.747	74.677	80.267	62.212	-	241.903	241.903	SD345			
	C	一般構造物	D16~D25	t	1.634	5.377	13.925	16.797	11.648	1.268	49.381	50.649	SD345			
			合計	t	1.634	5.377	13.925	16.797	11.648	1.268	49.381	50.649	SD345			
	A	基礎杭	D16~D25	t	0.882	7.996	33.162	-	-	0.882	42.040	42.922	SD345			
			D32	t	-	5.540	-	-	-	-	5.540	5.540	SD345			
			合計	t	0.882	13.536	33.162	-	-	0.882	47.580	48.462	SD345			
	B	基礎杭	D51	t	-	-	49.687	-	-	-	49.687	49.687	SD345			
			合計	t	-	-	49.687	-	-	-	49.687	49.687	SD345			
	Y	基礎杭	D16~D25	t	16.542	-	-	-	-	20.520	16.542	37.062	SD345			
			合計	t	16.542	-	-	-	-	20.520	16.542	37.062	SD345			
	A(E)															

修正箇所

正誤区分

設計図
(橋梁
下部
工・中
野川
橋)
56/57
中野川
橋 復
旧計画
図

誤

中野川橋 復旧計画図

S=1:500

56 / 57

断面図
b - b

掘削図

埋戻し図

数量内訳表

項目	規格	単位	数量	備考
構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB)	Bf-0. 65-0. 415	m3	1. 77	
仮設物設置・撤去工 Bf-0. 65-0. 415(A) 設置		m	21. 0	
仮設物設置・撤去工 Bf-0. 65-0. 415(A) 撤去		m	21. 0	
用排水溝 Ds-Bf-0. 65-0. 415	Bf-0. 65-0. 415 2種	m	19. 2	

用排水溝 Bf-0. 650-0. 415(A) 数量内訳表

項目	規格	単位	数量	備考
ベンチフリューム	0. 650*0. 415 2種	本	5. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*1. 5	本	10. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*2. 0	本	20. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*2. 5	本	20. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*5. 0	本	4. 0	
クランプ	φ48. 6mm用	個	20. 0	

仮設物設置・撤去工 Bf-0. 650-0. 415 (A) (参考図)

項目	単位数量	延長	数量	備考
構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB)	0. 077	23. 0	1. 77m3	

正

中野川橋 復旧計画図

S=1:500

56 / 57

断面図
b - b

掘削図

埋戻し図

数量内訳表

項目	規格	単位	数量	備考
構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB)	Bf-0. 65-0. 415	m3	1. 77	
仮設物設置・撤去工 Bf-0. 65-0. 415(A) 設置	Bf-0. 65-0. 415 2種	m	21. 0	
仮設物設置・撤去工 Bf-0. 65-0. 415(A) 撤去		m	21. 0	
用排水溝 Ds-Bf-0. 65-0. 415(R)		m	19. 2	

用排水溝 Bf-0. 650-0. 415(A) 数量内訳表

項目	規格	単位	数量	備考
ベンチフリューム	0. 650*0. 415 2種	本	5. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*1. 5	本	10. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*2. 0	本	20. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*2. 5	本	20. 0	
単管	φ48. 6*2. 4*5. 0	本	4. 0	
クランプ	φ48. 6mm用	個	20. 0	

仮設物設置・撤去工 Bf-0. 650-0. 415 (A) (参考図)

項目	単位数量	延長	数量	備考
構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB)	0. 077	23. 0	1. 77m3	

20/25

修正箇所

正誤区分

設計図

(工事

用道

路)

(30/10

5)

1 工区

用・排

水工詳

細図

誤

1工区 用・排水工詳細図

30 / 105

P-(Po-B)・φ0.20(Sd-B)

埋戻し材

表込め材P
(現地発生材)

基礎材 B

20または600mm以上

寸法表		寸 法 (mm)									
種別	項目	a	b	c	d	Bd	H	D	Bc	t	
		200	120	324	H-644	800	1100~2000	300	333.4	16.7	

数量表		規格・寸法		単位		数 量		10m当り		換 用	
種別	項目	規格・寸法		単位		数 量		換 用		換 用	
		普通部		m ²		8.80					
	構造物掘削										
	残 土			m ²		4.24					
	P-(Po-B)・φ0.20(Sd-B)			m		10.00					

磐越自動車道 中野川橋下部工工事			
図面の種類	1工区 用・排水工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 磐越支社 磐越工事事務所		

正

1工区 用・排水工詳細図

30 / 105

P-(Po-B)・φ0.20(Sd-B)

埋戻し材

表込め材P
(現地発生材)

基礎材 B

20または600mm以上

寸法表		寸 法 (mm)									
種別	項目	a	b	c	d	Bd	H	D	Bc	t	
		200	60	179	H-439	600	900~2000	200	239	19.5	

数量表		規格・寸法		単位		数 量		10m当り		換 用	
種別	項目	規格・寸法		単位		数 量		換 用		換 用	
		普通部		m ²		5.40					
	構造物掘削										
	残 土			m ²		2.14					
	P-(Po-B)・φ0.20(Sd-B)			m		10.00					

磐越自動車道 中野川橋下部工工事			
図面の種類	1工区 用・排水工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 磐越支社 磐越工事事務所		

修正箇所		正誤区分	
設計図 (工事 用道 路) (47/10 5) 1工区 軽量盛 土工 構造図 (1)	誤	1工区 軽量盛土工 構造図 (1) (軽量盛土工詳細図) 図示 EPSブロックの基本形状・物性規格 S=1:50 型内発泡法 EPSブロック 押出発泡法 EPSブロック EPSブロック物性表 型内発泡法 EPSブロック種類 押出発泡法 EPSブロック種類 試験方法 単位体積重量 圧縮強度 許容圧縮応力度 弾性係数 発泡スチロール土工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用する は、本設計で使用するEPSブロックを示す。 緊結金具詳細図 両爪型 片爪型 材料物性表 種類 記号 面平均付着量 面平均付着量 面平均付着量 引張試験値 引張試験値 引張試験値 緊結金具の設置数 条件 ブロックサイズ 個数 換算 1㎡あたり 1㎡あたり 2.0m×1.0m×0.5m 1.15 2.30 レベル2地震動対応の場合は、上記個数の倍の金具を使用する事。 緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。 切断加工したブロックには、1ブロックあたり個ないし2個使用とする。 発泡スチロール土工法開発機構 (EDO) が指定した金具と同等品以上を使用する事。 特記事項 1. 本工事の軽量盛土工は、契約図書に示す構造条件等に対し、「EDO-EPG工法 設計・施工基準書 (2019年5月 発泡スチロール土工法開発機構) (以下、「基準書」と示す) により決定している。 2. 本工事における軽量盛土工は、(1) により示す別添の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得なければならない。なお、この場合は、下記に示す耐震性能が実証実験で証明されていることを前提に、その実証実験により確立された設計手法で別途設計されているものでなければならない。 ・軽量盛土工は、下記に示す実証実験により耐震性能が証明出来るものでなければならない。 1 軽量盛土工レベル : 軽量盛土工高さ8m以上 2 地震動レベル : レベル2地震動 2. 使用材料 (1) 発泡スチロールブロックについては、「基準書」第3章 材料 3. 2 EDO-EPGブロックに示される材料特性を満足するものとする。 (2) 緊結金具については、地震時にける軽量盛土工に作用する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとし、その性能・機能については、上記1. (2) に示す実証実験において、軽量盛土工の一体性の確保が証明される等、耐震性能が確保されていることを証明できるものでなければならない。 3. 施工管理方法 本工事における軽量盛土工の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書」第4章 施工によるものとしているが、上記1. (2) により工法を採用する場合における施工管理方法は、監督職員と別途協議するものとする。 EPSブロック配置の参考例 S=1:200 平面図 2000 (標準) 1000 上層ステージ 下層ステージ 緊結金具の設置例 S=1:200 平面図 (レベル2地震動対応特の配置例) ○ 緊結金具	
正	正	1工区 軽量盛土工 構造図 (1) (軽量盛土工詳細図) 図示 EPSブロックの基本形状・物性規格 S=1:50 型内発泡法 EPSブロック 押出発泡法 EPSブロック EPSブロック物性表 型内発泡法 EPSブロック種類 押出発泡法 EPSブロック種類 試験方法 単位体積重量 圧縮強度 許容圧縮応力度 弾性係数 発泡スチロール土工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用する は、本設計で使用するEPSブロックを示す。 緊結金具詳細図 両爪型 片爪型 材料物性表 種類 記号 面平均付着量 面平均付着量 面平均付着量 引張試験値 引張試験値 引張試験値 緊結金具の設置数 条件 ブロックサイズ 個数 換算 1㎡あたり 1㎡あたり 2.0m×1.0m×0.5m 1.15 2.30 レベル2地震動対応の場合は、上記個数の倍の金具を使用する事。 緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。 切断加工したブロックには、1ブロックあたり個ないし2個使用とする。 発泡スチロール土工法開発機構 (EDO) が指定した金具と同等品以上を使用する事。 特記事項 1. 本工事の軽量盛土工は、契約図書に示す構造条件等に対し、「EDO-EPG工法 設計・施工基準書 (2019年5月 発泡スチロール土工法開発機構) (以下、「基準書」と示す) により決定している。 2. 本工事における軽量盛土工は、(1) により示す別添の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得なければならない。なお、この場合は、下記に示す耐震性能が実証実験で証明されていることを前提に、その実証実験により確立された設計手法で別途設計されているものでなければならない。 ・軽量盛土工は、下記に示す実証実験により耐震性能が証明出来るものでなければならない。 1 軽量盛土工レベル : 軽量盛土工高さ8m以上 2 地震動レベル : レベル2地震動 2. 使用材料 (1) 発泡スチロールブロックについては、「基準書」第3章 材料 3. 2 EDO-EPGブロックに示される材料特性を満足するものとする。 (2) 緊結金具については、地震時にける軽量盛土工に作用する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとし、その性能・機能については、上記1. (2) に示す実証実験において、軽量盛土工の一体性の確保が証明される等、耐震性能が確保されていることを証明できるものでなければならない。 3. 施工管理方法 本工事における軽量盛土工の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書」第4章 施工によるものとしているが、上記1. (2) により工法を採用する場合における施工管理方法は、監督職員と別途協議するものとする。 EPSブロック配置の参考例 S=1:200 平面図 2000 (標準) 1000 上層ステージ 下層ステージ 緊結金具の設置例 S=1:200 平面図 (レベル2地震動対応特の配置例) ○ 緊結金具	

修正箇所		正誤区分																							
設計図 (工事 用道 路) (48/10 5) 1 工区 軽量盛 土工 構造図 (2)	誤	48 / 105 1工区 軽量盛土工 構造図 (2) (床版工詳細図ー1) S=1:20 コンクリート床版詳細図 S=1:20 断面図 D13 #150 ※ 重ね継手長 la=410以上 la = 31.25 × d (「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」 P.155 参照) 平面図 D13 #150 コンクリート床版段差部 S=1:20 異形鉄筋 D13-150×150 伸縮目地詳細図 S=1:20 段差部鉄筋加工表 (段差H=250) 段差進行き10.0m当り 段差部鉄筋加工表 (段差H=400) 段差進行き10.0m当り 総質量 D13 106.631 kg 総質量 D13 126.564 kg 磐越自動車道 中野川橋下部工工事 <table><tr><td>図面の種類</td><td>1工区 軽量盛土工 構造図 (2)</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1:20 図面番号</td></tr><tr><td>設計会社名</td><td>株式会社 アルゴス</td></tr><tr><td>施工会社名</td><td></td></tr><tr><td>事務所名</td><td>東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所</td></tr></table>	図面の種類	1工区 軽量盛土工 構造図 (2)	縮 尺	1:20 図面番号	設計会社名	株式会社 アルゴス	施工会社名		事務所名	東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所	正		48 / 105 1工区 軽量盛土工 構造図 (2) (床版工詳細図ー1) S=1:20 コンクリート床版詳細図 S=1:20 断面図 鉄筋金網 D13-150×150 平面図 鉄筋金網 D13-150×150 コンクリート床版段差部 S=1:20 鉄筋金網 D13-150×150 伸縮目地詳細図 S=1:20 段差部鉄筋加工表 (段差H=250) 段差進行き10.0m当り 段差部鉄筋加工表 (段差H=400) 段差進行き10.0m当り 総質量 D13 106.631 kg 総質量 D13 126.564 kg 磐越自動車道 中野川橋下部工工事 <table><tr><td>図面の種類</td><td>1工区 軽量盛土工 構造図 (2)</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1:20 図面番号</td></tr><tr><td>設計会社名</td><td>株式会社 アルゴス</td></tr><tr><td>施工会社名</td><td></td></tr><tr><td>事務所名</td><td>東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所</td></tr></table>	図面の種類	1工区 軽量盛土工 構造図 (2)	縮 尺	1:20 図面番号	設計会社名	株式会社 アルゴス	施工会社名		事務所名	東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所
図面の種類	1工区 軽量盛土工 構造図 (2)																								
縮 尺	1:20 図面番号																								
設計会社名	株式会社 アルゴス																								
施工会社名																									
事務所名	東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所																								
正		48 / 105 1工区 軽量盛土工 構造図 (2) (床版工詳細図ー1) S=1:20 コンクリート床版詳細図 S=1:20 断面図 鉄筋金網 D13-150×150 平面図 鉄筋金網 D13-150×150 コンクリート床版段差部 S=1:20 鉄筋金網 D13-150×150 伸縮目地詳細図 S=1:20 段差部鉄筋加工表 (段差H=250) 段差進行き10.0m当り 段差部鉄筋加工表 (段差H=400) 段差進行き10.0m当り 総質量 D13 106.631 kg 総質量 D13 126.564 kg 磐越自動車道 中野川橋下部工工事 <table><tr><td>図面の種類</td><td>1工区 軽量盛土工 構造図 (2)</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1:20 図面番号</td></tr><tr><td>設計会社名</td><td>株式会社 アルゴス</td></tr><tr><td>施工会社名</td><td></td></tr><tr><td>事務所名</td><td>東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所</td></tr></table>	図面の種類	1工区 軽量盛土工 構造図 (2)	縮 尺	1:20 図面番号	設計会社名	株式会社 アルゴス	施工会社名		事務所名	東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所													
図面の種類	1工区 軽量盛土工 構造図 (2)																								
縮 尺	1:20 図面番号																								
設計会社名	株式会社 アルゴス																								
施工会社名																									
事務所名	東北本業建設株式会社 新潟支社 新潟工事事務所																								

修正箇所

設計図

(工事
用仮
橋・中
野川
橋)

1/52
中野川
橋 仮
栈橋
数量総
括表

誤

中野川橋 仮栈橋 数量総括表

1 / 52

数量総括表

項 目	細 目	種 別	単 位	数 量	備 考	
上部工 A	覆工板		m2	272.0	すべり止め加工	
	プレガーター材		t	91.612		
	清形鋼	[380×100×10.5×16	t	3.706	地覆	
	等辺山形鋼	L-75×75×9	t	1.677	高欄	
	高欄延長		m	68.0	形鋼組立型	
	ボルト・ナット		t	2.482		
上部工 B	覆工板		m2	1135.0	すべり止め加工	
	H形鋼	H200×200×8×12	t	3.990	覆工桁	
	H形鋼	H900×300×16×28	t	139.178	主桁	
	清形鋼	[380×100×10.5×16	t	13.709	地覆	
	清形鋼	[300×90×9×13	t	21.727	対縁構	
	等辺山形鋼	L-75×75×9	t	6.143	高欄	
工事用仮橋	高欄延長		m	251.47	形鋼組立型	
	プレート		t	5.360	各種	
	ボルト・ナット		t	1.122		
	下部工 A	H形鋼	H700×300×13×24	t	25.298	受桁
		H形鋼	H800×300×14×26	t	7.246	受桁
		H形鋼	H900×300×16×28	t	11.520	受桁
		H形鋼	H400×400×13×21	t	215.860	支柱
		H形鋼	H300×300×10×15	t	1.209	踏掛桁
		H形鋼	H300×300×10×15	t	0.152	高さ調整材
		H形鋼	H500×500×25×25	t	2.312	調整材
		H形鋼	H800×300×14×26	t	5.175	桁受
		清形鋼	[380×100×13×20	t	6.720	桁受
		清形鋼	[300×90×9×13	t	0.200	受桁継ぎ材
		清形鋼	[200×90×8×13.5	t	0.400	転倒防止材
		清形鋼	[380×100×13×20	t	30.969	継ぎ材
		清形鋼	[200×90×8×13.5	t	34.245	継ぎ材
		清形鋼	[380×100×13×20	t	61.740	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×12	t	14.556	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×9	t	22.172	プレス材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	6.588	ネコピース
		油圧ジャッキ	KOP-1230 (H350)	t	1.320	
		プレート		t	8.236	各種
		ボルト・ナット		t	6.325	
	土留め工	H形鋼	H300×300×10×15	t	1.953	親杭
		鋼矢板	SP-3型	t	6.900	継ぎ材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.358	鋼矢板固定材
		等辺山形鋼	L-50×50×4	t	0.044	ブラケット
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.095	親杭
		木矢板	t = 37mm以上	m2	5.1	土留め鋼矢板
	基礎ぐい	H形鋼	H400×400×13×21	本	127.0	200.036t
		プレート		t	19.667	継ぎ材
		ボルト・ナット		t	5.141	

磐越自動車道 中野川橋下部工工事

図面の種類

中野川橋

仮栈橋 数量総括表

縮 尺

—

図面番号

設計会社名

株式会社 建設技術研究所

施工会社名

事務所名

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟工事事務所

中野川橋 仮栈橋 数量総括表

1 / 52

数量総括表

項 目	細 目	種 別	単 位	数 量	備 考	
上部工 A	覆工板		m2	272.0	すべり止め加工	
	プレガーター材		t	91.612		
	清形鋼	[380×100×10.5×16	t	3.706	地覆	
	等辺山形鋼	L-75×75×9	t	1.677	高欄	
	高欄延長		m	68.0	形鋼組立型	
	ボルト・ナット		t	2.482		
上部工 B	覆工板		m2	1135.0	すべり止め加工	
	H形鋼	H200×200×8×12	t	3.990	覆工桁	
	H形鋼	H900×300×16×28	t	139.178	主桁	
	清形鋼	[380×100×10.5×16	t	13.709	地覆	
	清形鋼	[300×90×9×13	t	21.727	対縁構	
	等辺山形鋼	L-75×75×9	t	6.143	高欄	
工事用仮橋	高欄延長		m	55.212	形鋼組立型	
	プレート		t	5.360	各種	
	ボルト・ナット		t	1.122		
	下部工 A	H形鋼	H700×300×13×24	t	25.298	受桁
		H形鋼	H800×300×14×26	t	7.246	受桁
		H形鋼	H900×300×16×28	t	11.520	受桁
		H形鋼	H400×400×13×21	t	55.212	支柱
		H形鋼	H300×300×10×15	t	1.209	踏掛桁
		H形鋼	H300×300×10×15	t	0.152	高さ調整材
		H形鋼	H500×500×25×25	t	2.312	調整材
		H形鋼	H800×300×14×26	t	5.175	桁受
		清形鋼	[380×100×13×20	t	6.720	桁受
		清形鋼	[300×90×9×13	t	0.200	受桁継ぎ材
		清形鋼	[200×90×8×13.5	t	0.400	転倒防止材
		清形鋼	[380×100×13×20	t	30.969	継ぎ材
		清形鋼	[200×90×8×13.5	t	34.245	継ぎ材
		清形鋼	[380×100×13×20	t	61.740	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×12	t	14.556	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×9	t	22.172	プレス材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	6.588	ネコピース
		油圧ジャッキ	KOP-1230 (H350)	t	1.320	
		プレート		t	8.236	各種
		ボルト・ナット		t	6.325	
	土留め工	H形鋼	H300×300×10×15	t	1.953	親杭
		鋼矢板	SP-3型	t	6.900	継ぎ材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.358	鋼矢板固定材
		等辺山形鋼	L-50×50×4	t	0.044	ブラケット
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.095	親杭
		木矢板	t = 37mm以上	m2	5.1	土留め鋼矢板
	基礎ぐい	H形鋼	H400×400×13×21	本	127.0	360.684t
		プレート		t	19.667	継ぎ材
		ボルト・ナット		t	5.141	

磐越自動車道 中野川橋下部工工事

図面の種類

中野川橋

仮栈橋 数量総括表

縮 尺

—

図面番号

設計会社名

株式会社 建設技術研究所

施工会社名

事務所名

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟工事事務所

修正箇所

設計図
(工事
用仮
橋・六
郎次川
橋)
1/37
六郎次
川橋
仮棧
橋
数量総
括表

誤

正誤区分

六郎次川橋 仮棧橋 数量総括表

1 / 37

数量総括表

項 目	細 目	種 別	単 位	数 量	備 考	
工 事 用 仮 橋	上部工 A	覆工板	m2	296.0	すべり止め加工	
		H形鋼	H700×300×13×24	t	4.368	覆工桁
		ブレガーター材		t	76.016	
		溝形鋼	[380×100×10.5×16	t	3.926	地覆
		H形鋼	H400×400×13×21	t	0.352	台形ベース
		等辺山形鋼	L-75×75×9	t	1.764	高欄
		高欄延長		m	72.0	形鋼組立型
		プレート		t	0.772	各種
		ボルト・ナット		t	1.722	
	上部工 B	覆工板	m2	320.0	すべり止め加工	
		H形鋼	H900×300×16×28	t	40.320	主桁
		H形鋼	H200×200×8×12	t	3.990	覆工ずれ止め
		溝形鋼	[380×100×10.5×16	t	4.574	地覆
		溝形鋼	[300×90×9×13	t	6.161	対傾構
		等辺山形鋼	L-75×75×9	t	2.164	高欄
		高欄延長		m	88.0	形鋼組立型
		プレート		t	1.419	各種
		ボルト・ナット		t	0.374	
	下部工	H形鋼	H800×300×14×26	t	13.041	受桁
		H形鋼	H900×300×16×28	t	14.880	受桁
		H形鋼	H400×400×13×21	t	106.382	支柱 (KA1~KP3, A2:基礎杭)
		H形鋼	H300×300×10×15	t	0.308	高さ調整材
		H形鋼	H800×300×14×26	t	5.693	桁受
		溝形鋼	[300×90×9×13	t	0.101	受桁継ぎ材
		溝形鋼	[200×90×8×13.5	t	0.449	転倒防止材
		溝形鋼	[200×90×8×13.5	t	11.712	継ぎ材
		溝形鋼	[300×90×10×15.5	t	6.936	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×12	t	5.337	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×9	t	2.806	プレス材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	1.188	ネコベース
		プレート		t	7.747	各種
		ボルト・ナット		t	1.665	
	土留め工	鋼矢板	SP-3型	t	6.000	土留め鋼矢板
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.298	鋼矢板固定材
		等辺山形鋼	L-50×50×4	t	0.040	ブラケット
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.086	倒れ防止材
基礎ぐい	H形鋼	H400×400×13×21	本	69.0	58.910 t	
	プレート		t	5.774	継ぎ材	
	ボルト・ナット		t	1.469		

磐越自動車道 中野川橋下部工工事

図面の種類六郎次川橋 仮棧橋 数量総括表

縮 尺— 図面番号

設計会社名株式会社 建設技術研究所

施工会社名東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所

事務所名

正

六郎次川橋 仮棧橋 数量総括表

1 / 37

数量総括表

項 目	細 目	種 別	単 位	数 量	備 考	
工 事 用 仮 橋	上部工 A	覆工板	m2	296.0	すべり止め加工	
		H形鋼	H700×300×13×24	t	4.368	覆工桁
		ブレガーター材		t	76.016	
		溝形鋼	[380×100×10.5×16	t	3.926	地覆
		H形鋼	H400×400×13×21	t	0.352	台形ベース
		等辺山形鋼	L-75×75×9	t	1.764	高欄
		高欄延長		m	72.0	形鋼組立型
		プレート		t	0.772	各種
		ボルト・ナット		t	1.722	
	上部工 B	覆工板	m2	320.0	すべり止め加工	
		H形鋼	H900×300×16×28	t	40.320	主桁
		H形鋼	H200×200×8×12	t	3.990	覆工ずれ止め
		溝形鋼	[380×100×10.5×16	t	4.574	地覆
		溝形鋼	[300×90×9×13	t	6.161	対傾構
		等辺山形鋼	L-75×75×9	t	2.164	高欄
		高欄延長		m	88.0	形鋼組立型
		プレート		t	1.419	各種
		ボルト・ナット		t	0.374	
	下部工	H形鋼	H800×300×14×26	t	13.041	受桁
		H形鋼	H900×300×16×28	t	14.880	受桁
		H形鋼	H400×400×13×21	t	4.816	支柱 (KA1~KP3, A2:基礎杭)
		H形鋼	H300×300×10×15	t	0.308	高さ調整材
		H形鋼	H800×300×14×26	t	5.693	桁受
		溝形鋼	[300×90×9×13	t	0.101	受桁継ぎ材
		溝形鋼	[200×90×8×13.5	t	0.449	転倒防止材
		溝形鋼	[200×90×8×13.5	t	11.712	継ぎ材
		溝形鋼	[300×90×10×15.5	t	6.936	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×12	t	5.337	プレス材
		等辺山形鋼	L-130×130×9	t	2.806	プレス材
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	1.188	ネコベース
		プレート		t	7.747	各種
		ボルト・ナット		t	1.665	
	土留め工	鋼矢板	SP-3型	t	6.000	土留め鋼矢板
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.298	鋼矢板固定材
		等辺山形鋼	L-50×50×4	t	0.040	ブラケット
		等辺山形鋼	L-100×100×10	t	0.086	倒れ防止材
基礎ぐい	H形鋼	H400×400×13×21	本	69.0	160.476 t	
	プレート		t	5.774	継ぎ材	
	ボルト・ナット		t	1.469		

磐越自動車道 中野川橋下部工工事

図面の種類六郎次川橋 仮棧橋 数量総括表

縮 尺— 図面番号

設計会社名株式会社 建設技術研究所

施工会社名東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所

事務所名